

シリーズ 84 ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



奉仕作業を終了してほっと一息の会員のみなさん



代表者(齊藤碩一さん)より

上郷駒場区は、愛宕山、難台山、鋸岸山に囲まれた戸数36戸の農村地帯です。

豊かな自然環境により、かつてはほとたるが乱舞し、「ほとたるの里」として知られていました。

しかし、農業の近代化と人々の生活の変化によって、夏の夜の風物詩であるほとたるが激減してしまいました。

郷土の宝であるほとたるの復活を願う有志の発案により「駒場ほとたるの会」が設立され、再びほとたるが飛び交う環境をとりもどすという夢の実現に向かって地道な奉仕活動が続けています。

「ほとたる」で広がる人の和

会が発足して最初の活動はほとたるが棲むための池(ピオトープ)作りでした。

会の活動に賛同し、土地を無償で貸してくれたこともあり、「ほとたる池」は、多くの善意と会員の奉仕作業により1日で完成しました。

池の岸に咲くクリンソウは、有識者の提案により植栽したものでしたが、会員による苗の育成と管理を続けた結果、群生地として知られるようになり、開花期には多くの観光客が訪れるようになりました。

自然生物の復活は簡単ではなく、ほとたるが乱舞するまでの成果は得られていませんが、私たちは会の活動を通して“人と人の融和”というかけがえない成果を得ることが出来ました。今では良好な地域コミュニティが形成され、作業中は楽しい会話が弾んでいます。

■ 駒場ほとたるの会 ■

代表者: 齊藤 碩一 (上郷)
設立: 平成16年
会員: 35人



ほとたる池の草刈は重労働



クリンソウの管理作業



ほとたる池に咲く
県の絶滅危惧種のクリンソウ (5月中旬)



飛び交うゲンジボタル
6月下旬大篠地内 (上郷)